

権威に服従する(新約聖書：コロサイ人への手紙3章20節から4章1節)

https://www.youtube.com/watch?v=25a8wCLY_EE&t=1926s

コロサイ人への手紙3章。先週は19節まででしたので、20節から始めて4章1節まで行きます。原文には章というものがなく、あれは後付けされたものであることをご理解ください。残念な事に4章1節は区切られてしまっていますが、本来は3章21節にあるべきなんです。ですからそのように扱います。その理由はすぐに分かりますよ。本文を私がお読みしますので、お立ちになって目で追ってください。無理な方は座ったままでも大丈夫です。使徒パウロは御霊によって、コロサイの教会に宛てた手紙の中で 続けて非常に実際的に書いています。20節でこう言っています。

コロサイ3

20「子どもたちよ。すべてのことについて、両親に従いなさい。それは主に喜ばれることだからです。」

21「父たちよ。子どもをおこらせてはいけません。彼らを気落ちさせないためです。」

22節。「奴隷たちよ。」この手紙が書かれた当時、多くの奴隷がいました。現代では、奴隷よりも従業員と言った方がしっくりくるはずですよ。ですから、よろしければ、そのように読ませていただきます。

「(従業員たちよ。)すべてのことについて、地上の雇用主に従いなさい。人のごきげんとりのような、うわべだけの仕方ではなく、主を恐れかしこみつつ、真心から従いなさい。」

「何をするにしても、人に対してではなく、主に対してするように、心からしなさい。」

24あなたがたは、主から報いとして、御国を相続させていただくことを知っています。あなたがたは主キリストに仕えています。

25不正を行う者は、自分が行った不正の報いを受けます。それには不公平な扱いはありません。

そしてコロサイ人への手紙4章1節。

コロサイ4

1主人たちよ/雇用主たちよ。あなたがたは、自分たちの主も天におられることを知っているのですから、奴隷/従業員に対して正義と公正を示しなさい。

共に祈りましょう。愛する天のお父様。今朝私達の前にあるこの箇所を感謝します。主よ、私がこの箇所を教える時にあなたが語りたいと思っている言葉を私に与えてください。そして主よ。聖霊様によって私達の思いと心を静め、私達の思いがさまよわず集中することができるように助けてください。

あなたが今日、私達のために 備えて下さっているものを見逃したくないからです。ですから主よ、私達の人生にお語り下さい。イエス様の御名によって、アーメン。

お座りください。ありがとうございます。今日、私が選んだタイトルは「権威に服従する」です。

タイトルを色々考えるのですが、それについては常に 大げさにしないようにしています。このタイトルを選んだ理由は、ただ理解するためではなく、私達の人生全般に適用するようにと、私達のことを思って、神様が権威構造をお定めになったからです。ここで使徒パウロは、妻が自分の上にある権威である夫に 従う必要があるという、結婚に関しての 勧めを終えて、さらに家庭に関して語ろうとしています。繰り返しますが、神様が定められたこの権威構造です。これは家庭だけに留まらず、職場についてもです。そのことに入って行く前に言っておくべきかもしれません。昨年7月、ほぼ1年前に私達は エペソ人への手紙6章でもっと詳しく学びました。私の記憶が正しければ、3、4週続けてやりました。クリスチャンの結婚生活、親業...親業を教えるのは

難しいですよ。それから職場のクリスチャンについても やりました。興味があれば、ホームページにあってアーカイブをダウンロードすることができます。Youtubeでも観ることができ、 pdfファイルもあります。しかし今回は、使徒パウロがエペソの教会に宛てた手紙と 多くの点で似ているこの箇所、違ったアプローチをしたいと思っています。

主が、私にキャンパスに大雑把に 描かせているような感じがしたのです。そのように言った理由を 説明させてください。私達クリスチャンが人生で、 家庭で、結婚生活で、職場で争う主な理由は神様が定められた権威構造に 私達が従わないからだとは思っています。これは、私達の人生に争いがないと 言っているのではなく、多くの場合、私達は不必要に 自分で争いを招いているのです。その主な理由は、 夫が主に従っていないからです。そして妻は夫に従わない。神様が定めた家庭での権威構造はこれです。

イエス様が家庭、夫の頭であり、 夫は妻の頭、覆いであり、両親は子どもにたいして権威を持っている。それが神様が定められた権威構造です。同様に、子供たちは両親の権威に従うのです。そして従業員は雇用主に、そしてさらに教会内の権威構造にも 同じことが言えます。ヘブル人への手紙の著者が 13章17節で語っていることを聞いてください。

ヘブル人への手紙13

17 あなたがたの指導者たちの言うことを聞き、 また服従しなさい。

なぜか？

この人々は神に弁明する者であって、あなたがたのたましいのために 見張りをしているのです。

あらまあ。分かりますか。私はこの教会の牧師として、 いつの日か指導者の立場につく者として 弁明をしなければならないのです。神の群れを見張るといふ この権威が与えられたゆえに。とてつもない責任です。そして、これを聞いて下さい。ヘブル人の著者は続けてこう言っています。自分に都合の良いように言っていると思われないといいのですが。

ですから、この人たちが（指導者、牧師として） 喜んでそのことをし、嘆いてすることにならないようにしなさい。そうでないと、あなたがたの 益にならないからです。

言い換えるなら、「神様が教会の中で定められた権威構造である、 指導者、権威ある者達に従いなさい。問題児になってはならない。重荷になってはならない。喜びとなりなさい。あなたの見張りを任された人達にとって、教会の一員であるあなたが 喜びとなるようにしなさい。これ以上、私達の仕事を難しくさせないで。」言いましたよ。これでスッキリした。イエス様の御名によってね。

このような例えを何年も前に聞きました。ここでヘブルの著者が語っている 「あなたがたの益にならないからです」に ふさわしい例えだと思います。言い換えるなら、神様があなたの人生に置かれた権威に従うことは、あなたの益のためなのです。あなたのためなのです。このように考えてみてください。ハイウェイの車線と標識、分かりますね。それらは私達の益のためにあそこにあるんです。私達のためにね。ちょっと考えてみてください。全ての車線と標識を取り除いたら、 どうなるでしょう？カオス（大混乱）ですよ。ですよ？あれらの車線、構造、ガイドラインは、 全てを秩序よく保つために 私達のために定められているのです。もしあなたがそれらに従わず、逆らうなら、どうなると思いますか？

衝突して炎上です。このことについて考えていたところなのですが、 実を言うと私達と一緒に行ったこちらの姉妹が、私達が1997年にエジプトのカイロに行った時のことを思い出させてくれました。エジプトのカイロを車で走るまでは 人生を満喫したとは言えませんよ。もちろん車線も標識もあるんです。

けどそれに従う人なんて誰もいない。誇張していませんよ。私はギザに住んでいた伯母に聞きました。「なぜ松葉杖をついた人が沢山いるの？」って。片足や片腕がないんです。すると伯母は言いました。「車がぶつかったのよ。」「それって、クレイジーだ。」伯母は自分の車に クラクションを取り付けていました。凄い大きな、18輪トラック用のをね。このクラクションを鳴らすでしょ・・・ あとは皆さんの想像力にお任せします

が。後で着替えないといけないんです。だってめちゃくちゃうるさいから。

ともかく、生き残るためには、取り付けなければならない。完全にカオスだから。車線や標識に従う人なんて誰もいません。そして、だからこそ、私達の益にならないのです。私は時々思うんです。私達はクリスチャンホームで 松葉杖をついて歩いていないだろうか。神様が定められたものに従わないゆえに。秩序というものがありません。私達の結婚生活、家庭は 争いと混乱で満ちています。平安も調和もありません。多くのクリスチャン家庭やキリスト教会が一線を越え、標識に従っていません。だからこそいつも争いが起こるのです。感謝なことここに本文は、平安と調和を 私達の人生と神様が定められた権威構造に 取り戻すことができる方法、答えを与えています。

さて、これは単純化し過ぎていると 思われる恐れがあるのは分かっています。しかし私達の問題の多くは 私達の視点に関係していると私は思っています。その理由を説明しますね。私達に従うべきものとして 私達が誰を見ているか、です。別の言い方でもう一度言わせてください。私達に従うべき人を 私達がどのように見ているか、なのです。ある人は言うでしょう。

「私は夫になんか従いません。うちの夫がどんな人か 先生は知らないんですよ。」

「私は上司に従うつもりはさらさらありません。上司がどんな人か先生は知らないんですよ。」

挙げればきりがありません。好きなだけ挙げることができます。でもそうするなら、自分の身に滅びを招くこととなります。ここに答えがあります。あなたは彼らに従っていない。あの上司。あなたは従うつもりはない。あの夫。嫌な夫。奥様方。夫を肘でこづかないでくださいね。絶対にさせないために皆さんの事を見ているだけです。あなたは夫に従っているのではありません。人ではなく主に従うのです。あなたは、それが正しいことだからするのです。これは神様が私達にするようにと命じられたことです。注意して聞いてください。

20節。「子どもたちは両親に従うべきだ。」なぜか? 「それは主に喜ばれることだからです。」

22節。「従業員たちは偽りのない態度であるべきだ。」なぜか? 「それは主に対する尊敬のゆえです。」

23節。「私達は心を尽くして働くべきです。なぜなら私達は主に対してするように働いているからです。」

そして24節。「私達は主から報いを受けると知っているので、権威に従うのです。」

共通点がわかりますか?

「人に対してではなく、主に対してするように」です。

主に対する尊敬のゆえなのです。主に対することなのです。いいですか。神様はそれを祝福されます。そうしなければならぬのです。父と母を敬い、従う子どもを 神様は祝福されます。神様は、主に対してするように、雇用主に従い一生懸命に働く従業員を祝福されます。もちろん雇用主もです。あなたが従業員を公平に取り扱うなら、神様はあなたを祝福されます。神様は、自分の上にある権威、夫に従っている妻を祝福されます。たとえ彼がひどい人だったとしても 神様は祝福して下さいます。あなたや私にしなさいと神様が命じられたことをしているあなたを神様は祝福されます。それが理由です。

つづいて「ではどうやって?」という質問が出て来ます。

「これが私達に従う理由。じゃあ、従うことは可能なの? もし可能であるなら、どうやって?」

私はこのように言うのが好きです。

「聖霊様の方法は、私達が聖書に書かれている事を行うことができるようにする。」

もっと踏み込んで言います。「聖霊様の力がなければ、あなたに希望はない。」

神様があなたに命じられたことを どれか一つでもすることはできない。そしてもちろん、それはクリスチャンの結婚生活、家庭にもつながっています。私にとって興味深いのは、パウロがエペソ人への手紙6章で 「妻達よ、夫に従いなさい。夫たちよ。妻を愛しなさい。子どもたちよ、両親に従いなさい。父たちよ。子どもをおこらせてはいけない。働く者たちよ。主に対してするように雇用主のために働きなさい。その逆もまたしかり。」と書いた時、それは聖霊様を悲しませるという文脈の中にあつたことです。

なぜ私はそのことを指摘するのでしょうか？

聖霊様がいなければ、あなたは忘れうるからです。

私ははっきりと、もしかしたら単刀直入に 言う必要があるのかもしれませんが。皆さんの中には結婚生活において、人生において、家庭において、そして職場において聖霊様が必要な方達があります。それこそが問題なのです。もう一つ問題があります。その問題とは、私が思うに、御霊の実より御霊の賜物に注目する時に、私達は大きな過ちを犯してしまうのです。多分、その理由は「賜物」はより目に見えるものであり、すぐに与えられるからでしょう。その一方で、「実」は時間がかかるからです。育てる必要がある。労力がかかるんです。というのも、実というのは 成長しなければならないからです。御霊の実は知ってますよね。興味深いことに、この実は単数形です。複数形ではありません。御霊の実は、ガラテヤ人への手紙5章、愛です。あなたが御霊の実、愛を持っているなら、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制がセットになっています。パウロはガラテヤの教会にこう書いています。

ガラテヤ人への手紙5章23節

このようなものを禁ずる律法はありません。

言い換えるなら、私に聖霊様の力があるなら、私は人に対してではなく、主に対してするように 従うことができるのです。そしてそれは私のためになるんです。娘が私のところに来るときはいつでも、 凄い素直とは言えません。そういう年頃なんですよ。素直というより、反抗的なんですね。私はいつも娘に言うんです。「あなたの人生が良くなるんだから、お母さんとお父さんに従う必要があるよ。」そして祈るんです。娘に先に祈るようにと言います。時々、それが今まで聞いた娘の祈りの中で一番良い祈りなんです。

「ああ神様。人生が良くなってほしいです。だって、そうじゃない時のことを知っているから。」

もしかしたら皆さんは心の中で 思っているかもしれません。

「失礼ながら牧師先生は、あまりにも非現実的な事を言っていますよ。絵に描いた餅です。」

「子どもたちよ。両親に従いなさい？妻たちよ。夫に従いなさい？従業員たちよ。雇用主に対してではなく 主に対してするように一生懸命に働きなさい？雇用主たちよ。従業員たちを・・・ 一体どんな世界に生きているんですか！？」

「もしかしたら60年代かもしれませんね。ですよ？だとしたらもっと現実的だ。でも私の住んでいる世界は違うんですよ。私の職場、結婚生活、家庭は違うんです。これは夢ですよ！」

「従順な子供！？ それだけでも夢ですよ！」

皆さんもそうでしょ？夫が主に従って、妻が夫に従っている結婚生活。ところで子ども達は 両親の姿を見ているんですよ。彼らは両親を見ている。

職場はどうでしょうか？

「また失礼ながらですが、牧師先生は 私がどんな人の下で働いているか知らないんです。あの反キリストの下で働いていると私は確信しているんですよ。反キリストにね。」

ちょっと待ってくださいよ。どうして・・・ところで彼らは あの反キリストではありませんからね。あー、もしかしたら 反キリストかもしれませんかね。反クリスチャンで、クリスチャンであるあなたに対しては よりつらく当たっている。でもどうして、神様が あなたをこのような時のために、その職場に置かれたのではないと言い切れますか？雇用主が従業員であるあなたを見ているとは 思いませんか？あなたは会社から盗むことはしない。あなたは上司が見ている時だけ 一生懸命働いているのではない。覚えています。いや、言いません、だって・・・私の上司は・・・ここまで言ったら言わないといけません。私の上司は、彼の事務所に近づいて来ると、そこは私のオフィスを一直線に見ることができる位置にあるので、いつも彼はそこに来ると私を見るんです。だから私は電話したり・・・そして、彼がサービス部門に戻って行くとハア～。

これはどうでしょうか？仕事中に私用の電話をしている。「ハニー、どうしている？」すると上司が通り掛る。その瞬間「はい、すぐに発送いたします！」ワーオ。

では、クリスチャンの従業員として、主に対するように 心を尽くして一生懸命働いたらどうでしょうか？心を

尽くしてね。一生懸命働いて、任せられた以上の事をする。そしたら雇用主は注目しないと思いますか？あなたは他の人達とは違う。あなたの反クリスチャンの雇用主を イエス・キリストの救いの知識に連れてくるために、神があなたを用いるはずがないと どうして言い切れるんですか？もしかしたらそのために その職場にいるのかもしれないと 私が言ったらどうでしょうか？でもあなたは別の仕事を祈り求めている。主は「いいや。私はあなたをそこに置いた。」これは人生全般に当てはめることができます。

未信者の夫がいる、クリスチャンの妻はどうですか？ほっ。それは難しいです。コリント人への手紙第一7章でそのことを語りました。ノンクリスチャンの夫に従うことによって、彼をイエス・キリストの救いの知識に連れて来ることはないと どうして言い切れますか？神様は、ご自身が定められた 権威構造を祝福されます。でもこれだけは言わせてください。妻である皆さん。もしそれが違法で不道徳で 聖書に反することなら 夫に従ってはいけません。条件があるんです。子ども達は絶対に、親からの虐待を受けてはなりません。それは母と父に従うことでも 敬うことでもありません。条件がちゃんとあるんです。

しかし繰り返しますが、もしあなたが 「先生がコロサイから説明されたこの夢がどうしたら私の人生、結婚生活、職場で 現実となるんだ」と自問されているなら、答えは、聖霊様を求めることです。単純すぎますか？もう一度言わせてください。あなたは主に、聖霊様の満たしとバプテスマを与えてくださるようにと求める必要があります。聖い生活をするためには、聖霊様が必要だからです。聖霊様がいなければ、あなたには希望はありません。最も哀れなクリスチャンは、聖霊様の力なしで 敬虔な生活をしようと頑張っているクリスチャンだと私は思っています。

夫達よ。聖霊様がいなければ、神様が召し、命じられた、キリストが教会を愛されたように 妻を愛する夫になることはできませんよ。自分の内にある愛でそのように 奥さんを愛することは不可能です。

妻達よ。あなたのうちに住まわれ、力を与えて下さる、助け主なる聖霊様なしで、自分の内にある愛で夫に従うことはできません！これは人生全般に言えることです。

ルカの福音書11章で 終わりにしたいと思います。9節から13節までお読みします。こう言ったらそんなの分かり切ったことだと 思われるかもしれませんが、あなたがすべきことは求めることだけです。あなたがこの夢の結婚生活、夢の職場、夢の家庭、夢の子供を、持つことができないのは、求めていないからです！

「ちょっと待って。先生。私がすべきなのは求めることだけ？」

そうですね！あなたが唯一すべきなのは、求めるだけ！このことについてお聞きしたいこと、考えてほしいことがあります。最後に主に助けを求めたのはいつですか？

「主よ！あなたが私を助け、力を与え、聖霊様で満たしてくださらない限り、これは 起きっこありません！」

と言ったのはいつですか？あなたが主に助けを求め、聖霊様を最後に求めたのはいつですか？

イエス様が言われていることを聞いて下さい。先週の木曜日、箴言の学びの中でも話しました。こう言っています。

ルカの福音書11

9わたしは、あなたがたに言います。求めなさい。そうすれば与えられます。捜しなさい。そうすれば見つかります。たたきなさい。そうすれば開かれます。だれであっても、求める者は受け、捜す者は見つけ出し、たたく者には開かれます。

非常に重要です。次の節を読む前に言っておきたいことがあります。原文にはこのような意味が含まれています。

「求めなさい。求め続けよ！捜しなさい。捜し続けよ！たたきなさい。たたき続けよ！たたくののを止めるな！」先週お話しした、決してあきらめなかった しつこいやもめのように。最終的に、不正な裁判官は心の中で言いました。「与えられるべき正義を与えない限り、彼女はいつまでも私を悩ますぞ。」彼女の粘り強さと不屈さの賜物により、彼は仕方なく彼女にしかるべき正義を与えました。このたとえの要点はこれです。

「不正な裁判官がこのしつこく祈り続ける人に 答えるのであるなら、ましてあなたがたの天の父があなたに 答

えて下さらないはずがない。」

このたとえの要点は、「求め続けなさい！ 探し続けなさい！ たたき続けなさい！」でした。

今日ここにおられる方、あるいはネットで見ていらっしゃる方の中で、もう長年祈り、求め、探し、たたき続けてこられた方がいるかもしれません。決してあきらめないでください！ 求めることを絶対にやめないでください！

娘、息子が戻ってくるようにと。夫や妻のために求めることを止めないで下さい！ 探し続け、あの扉を叩き続けるのを止めないでください！ イエス様が続けて言われていることを聞いてください。

ルカの福音書11

11 あなたがたの中で、子どもが魚を下さいと言うときに、魚の代わりに蛇を与えるような父親（両親と言いましょう）が、いったいいるでしょうか。

この中で子どもがシーフード、タラやチリアン・シーバスを頂戴と言う時に、代わりに蛇を与える人がいますか

ルカの福音書11

12卵を下さいと言うのに、だれが、さそりを与えるでしょう。

13してみると、あなたがたは、悪い者ではあっても、自分の子どもには良い物を与えることを知っているのです。とすれば、なおのこと、天の父が、求める人たちに、どうして聖霊を下さないことがありましよう。

「ちょっと待ってください、牧師先生。イエス様を信じて、ボーンアゲインした時、私は聖霊様を受けたと思っていたんですが・・・」

その通りですよ。聖霊様は、あなたがイエス・キリストに人生を明け渡した時に、あなたの内に住まわれました。今、聖霊様はあなたの内におられます。しかし、私達が求めるべきなのは、聖霊様が私達の内に住まわれるだけではなく、私達の上に留まられることです。それによって私達の人生が生ける命の水の力強い奔流となるためです。今思ったことなので、多分主からだと思うのですが・・・

これで本当に終わりにしますからね。あなたがカヌーを持っているとしましょう。そしてそれは岸边にある。砂浜にあるけれど、水に浮かべる必要がある。でも凄く重たいんです。なので、あなたはぐーっと押しけれど、ちょっとしか動かない。そこで兄弟達を呼んで、助けてもらいます。皆で「うーん」と顔を真っ赤にしなが押しけれど、そいつはビクともしない。ところが突然、潮がさして来ます。すると、小指でその重いカヌーをやすやすと押すことができちゃうんです。というのも今、あなたには生ける水の力があるから。それがあなたの人生にある聖霊様の力なのです！ あなたはそれを得ることができんです。求める者達のためにあるんです。祈りましよう。

天のお父様、感謝します。非常に単純であることを感謝します。

もしかしたらある意味、単純すぎる事が問題なのかもしれません。

主よ、クリスチャン生活は委ねることであり、努力ではないことを感謝します。

クリスチャン生活は、肉の力にではなく、聖霊様の力にあることを感謝します。

主よ、あなたが私達を力づけることなしに何かをしなさいと言われることは一つもないことを感謝します。

イエス様の御名によって、

アーメン。

メッセージby JD Farag

牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7